

A表現（2）立体に表す（絵や立体，工作に表す）	学 年 第1学年
題材名	場 所 1年生教室
はこはこせいじん 大しゅうごう ～つんでつくり～	指導者 安芸太田町立加計小学校 教諭 新谷 美紀

## 1 題材について

- 本題材は、小学校学習指導要領に示された次の内容を受けて設定した。

A表現（2）ア 感じたことや想像したことから、表したいことを見付けて表すこと。

イ 好きな色を選んだり、いろいろな形をつくって楽しんだりしながら表すこと。

ウ 身近な材料や扱いやすい用具を手を働かせて使うとともに、表し方を考えて表すこと。

〔共通事項〕ア 自分の感覚や活動を通して、形や色などをとらえること。

イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。

本題材は、身近な空き箱の特性を生かして、積んでいくと何になるか考えながら立体に表す活動である。

「はこはこ星人（ロボコ）の仲間をつくろう。」から出発し、空き箱などの材料を組み合わせ、つくりたいロボコの仲間のイメージを膨らませながらつくっていく。様々な箱を用意させ、箱の形や色を、どのように組み合わせるかで発想が広がる題材である。児童の自由な発想を基に作品をつくることのできることで、児童が楽しく取り組むことができると考える。

- 本学級の児童は、図画工作科を好きな教科に挙げる児童が多く、活動には意欲的に取り組んでいる。今までに主に粘土を使って立体に表してきた。「クッキーやさんになろう」では、こんなクッキーがあったらいいな、など想像を広げながら活動することができた。また、色もカラフルで形の面白いクッキーをつくり、子供たちは楽しみながら取り組むことができた。「どうぶつさん だいすき」では、知っている動物の特徴を友達と話しながらか表現したい動物の姿や物語を豊かにイメージした。

このような造形活動を通して、図鑑や実際に見て知っている生き物について特徴をつかんで、自分なりに表現することができるようになってきている。また、自分のつくりたいイメージに合わせて、身の回りにある物に目を向けて材料を集め、それを生かしていこうとする意欲が高まってきている。

図画工作に対する児童の意識調査

単位(人)

A よく当てはまる	B まあまあ当てはまる	C あまり当てはまらない	D 当てはまらない		
項 目		A	B	C	D
①	図画工作はわくわくする活動だ	8	1	0	0
②	絵をかいいたりものをつくったりするときにアイデアがうかぶ	7	1	1	0
③	友だちの作品のよいところを取り入れている	7	2	0	0
④	自分らしく、みる・かく・つくることができる	9	0	0	0
⑤	作品について思ったことや感じたことを話し合うのが好きだ	6	2	1	0

また、9月に実施した質問紙による児童の意識調査の結果からも、図画工作が好きな児童が多いことが分かる。好きな理由は、「みんなで勉強できるから好き。」や、「かくのが好きだから。」というものであった。しかし、アンケート項目の②と⑤でCと答えた児童がいる。②では「簡単なものしかつけれない、かけない。」⑤では「みんなの前で発表するのが恥ずかしい。」からであった。原因として考えられることは、自分の作品に満足していないことや、発表する時に伝えたい気持ちはあるが、伝え方が分からないことが考えられる。

- 指導に当たっては次のような手立てを行っていききたい。まず材料は、いろいろな形や色の箱に興味をもたせるために、事前に箱を自分で集めたり、友人の集めた物を使わせたりする。いろいろな大きさや色が楽しめるよう、似たものばかりにならないように集めさせる。導入では、児童が自分の世界に入り、想像を広げて活動することができるよう、宇宙にある一つの星、「はこはこ星」からきた「はこはこ星人」を試作品として提示する。「宇宙から遊びにきた」とすることで、実在する生き物以外でもつくっていいと思わせ、児童の発想がさらに広がる活動にしたい。また、はこはこ星人からの手紙を児童に提示する。はこはこ星にいる仲間には、自己紹介の紙をつけておく。紙には、名前と体の特徴や得意なことなど書いておく。はこはこ

星人の試作品を提示し、その具体的な特徴を紹介することは、子供たちがつくりたいはこはこ星人のイメージをより具体化させ、広げていく手立てになるのではないかと考える。

また、⑤でCと答えた児童については、つくりたいはこはこ星人のイメージを話し合う中で少しずつ発表への抵抗感を克服させていく。

【研究主題に関わって】

(自己有用感が高まる対話)

自分がどんなはこはこ星人の仲間をつくっていくかを話し合わせ、イメージをもてるようにする。友人の意見を聞き、発想のよさを感じ合わせることで、他者との対話の充実を図ることができると考える。

2 題材の目標

○ 集めた材料の形や色を生かして組み合わせ、楽しい形になるように立体的に表す。

3 題材の評価規準

ア 造形への 関心・意欲・態度	イ 発想や構想の能力	ウ 創造的な技能	エ 鑑賞の能力
箱の形や色を見ながらそれらを組み合わせ、「たのしいなかま」をつくることを楽しもうとしている。	箱を組み合わせながら、つくりたい形や様子を思いついている。	作りたい形や様子になるように、箱を組み合わせ、接着する工夫をしている。	お互いの作品を見せ合いながら、形や色の組合せ方の面白さに気付いている。

4 指導計画 (全4時間)

次	時	学習内容	評価					
			関	発	創	観	評価規準	評価方法
一	1 本 時	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     どんな「はこはこせいじん」をつくりたいかかんがえよう。                 </div> <p>○はこはこ星人の仲間のイメージを広げる。 ○箱の組合せ方を考える。</p>	◎	○			箱の形や色を見ながらそれらを組み合わせ、「たのしいなかま」をつくることを楽しもうとしている。  箱を組み合わせながら、つくりたい形や様子を思いついている。	行動観察 発言  発言
二	2  3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     はこのくみあわせかたをかんがえて、はこはこせいじんのなかまをつくろう。                 </div> <p>○作品が安定するように構造を考えながらつくる。 ○つくりたい思いが広がるように、箱以外の材料(サインペン・色紙・身近な材料など)も使ってつくる。 ○途中鑑賞を通して、友達の品のよいところを取り入れてつくる。</p>		○	◎		箱を組み合わせながら、つくりたい形や様子を思いついている。  作りたい形や様子になるように、箱を組み合わせ、接着する工夫をしている。	行動観察 発言  行動観察 作品

三	4	ともだちのさくひんのよいところを見つけよう。  ○はこはこ星人の周りに作品を並べて鑑賞する。			◎ お互いの作品を見せ合いながら、形や色の組合せ方の面白さに気付いている。	作品付箋紙
---	---	--	--	--	---------------------------------------	-------

5 本時の目標

- 自分のイメージを基に、箱の形や色を見て組合せ方を考え、はこはこ星人の仲間をつくることを楽しむ。

6 準備物

指導者 「クッキーやさんになろう」児童の作品、試作品、セロハンテープ

児童 空き箱、セロハンテープ

7 本時の展開

学習活動	○指導上の留意点（◆支援）	評価規準	評価方法
1 題材と出会う。(14分)	○はこはこ星のイメージがわくような手紙と試作品を提示する。 ○はこはこ星人は、空き箱からできていることと、自分たちがつくる星人の仲間も空き箱でつくることを確認させる。		
2 本時のめあてをつかむ。(3分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">           どんな「はこはこせいじん」をつくりたいか考えよう。         </div> ○「クッキーやさんになろう」の作品を提示し色や形の違いを意識させる。いいところは自分の作品づくりに取り入れてよいことを伝える。		
3 組合せ方を考え、イメージを広げる。(21分) ・空き箱を組み合わせて、自分のつくりたいはこはこ星人のイメージを広げる。	○どんなはこはこ星人をつくりたいかまずは一人で考えさせる。 ○箱の組合せを試しながら、顔や体、手などに使う箱を決めるよう伝える。 ◆材料を手の届く場所に置いておき、色や形に着目させ発想が広がるようにする。 ○はこはこ星人の名前や、どんなことができる星人をつくりたいのかイメージを広げることができるようにする。 ○班で順番に発表させ、友人の意見も参考にさせる。 ◆同じ箱を児童が欲しがったら、今日はどちらかに使わせて、また次の図工の時間までに家から持ってきてよいことを伝える。 ◆箱を接着したい児童には、完全に固定はしないで、セロハンテープで仮どめするように伝える。	箱の形や色を見ながらそれらを組み合わせ、「たのしいなかま」をつくることを楽しもうとしている。(造形への関心・意欲・態度)	発言・行動観察
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <b>【自己との対話】</b>            ・いつもにこにこ笑顔の優しいはこはこ星人をつくりたいな。(自分の体にない部分や性格を考えている)            ・かくれんぼするのにたくさんの目があつたらいいな。(遊びたいことを考えている)            ・この箱は足にしたらいいな。太いから倒れないな。(材料に目を向ける)         </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <b>【他者との対話】</b>            ・はこはこ星人とかくれんぼをしたいので、目がたくさんある星人をつくりたいと思っているよ。            ・この箱は大きいから口になりそうだね。         </div>			

4 振り返りをする。(7分)	○本時のめあてを再度確認し、めあてに沿った視点で学習カードに振り返りを書かせ発表させる。 ◆友達との関わりや、材料を見てひらめいたことを考えさせる。		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きい箱が口になると思いました。大きいのはこ星人の仲間をつくります。</li> <li>・〇〇さんが卵パックを口にしていたのが良いと思ったので、私も口にしようと思いました。</li> <li>・〇〇くんは長い箱を選んで足にしていたのがすごいと思いました。ぼくも足を長いのにしました。</li> </ul>			
5 次時の活動を知る。			

### はこはこ星人からの手紙 (題材との出会い)

ぼくたちは、宇宙にある「はこ星」からやってきた「はこはこ星人」です。ぼくたちは、みんな箱でできています。はこはこ星人の体も家も箱でできているんですよ。

ぼくたちは、地球に遊びに来ました。せっかく宇宙旅行で地球に来たのに、ぼくたちは3人しかいなくてさみしいのです。

宇宙旅行をしている間に地球にも箱があると聞きました。ぜひ僕たちの仲間をつくって下さい。そして一緒に遊びましょう。ぼくたちと仲良くして下さい。

### 自己紹介

はこはこ星人 1

わたしの名前は、はこびゅーん。わたしの足はすごく長いでしょ？だから、びゅーんってとても早く走ることができるんだよ。それに目もたくさんあるから遠くまで何でも見ることができるんだよ。いいでしょ。

はこはこ星人 2

ぼくの名前は、ぱっくん。ぼくはとっても食いしん坊なんだ。なんてったって、この大きな口でぺろりと食べるからね。大好物は、はこはこカレーだよ。にんじんも、じゃがいもも箱形なんだ。おいしいよ。地球にもカレーがあるって聞いたよ。みんなはカレーが好きかい？

はこはこ星人 3

わたしの名前は、にじいろこ。見てみて私の体、いろいろな色があるでしょ。私の自慢なの。友達にはいつもにこにこ笑顔ですてきだねって言われるの。みんなとたくさん遊んでもっと笑顔になりたいな。

本学習指導案を作成するに当たり、富山県富山市立四方小学校 新夕 啓子教諭の学習指導案「パックパックせい人となかよし」を参考にした。